

第 1 1 回 網走開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 2 3 年 7 月 2 9 日 (金) 網走開発建設部 第 1 会議室	
委員	大島俊之 (北見工業大学教授)、高橋 清 (北見工業大学教授)、 辻 修 (帯広畜産大学教授) (五十音順)	
議事	<p>1 平成 2 3 年度総合評価落札方式等の変更点について</p> <p>2 平成 2 3 年度総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>3 土木関係コンサルタント業務の審査について</p> <p>4 個別審査</p> <p>①平成 2 3 年度 総合評価落札方式実施工事の事後審査について</p> <p>②平成 2 3 年度 総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について</p> <p>③平成 2 3 年度 簡易公募プロポーザル方式業務の事後審査について</p> <p>④平成 2 3 年度 総合評価落札方式業務の事前審査について</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	説明・回答	
<p><b>1. 平成 2 3 年度 総合評価落札方式等の変更点について</b></p> <p>配点等の変更の背景・目的は？</p> <p>『簡易な施工計画』の評価方法は、『優・可・不可』の 3 段階評価とするのか、『優・良・可・不可』の 4 段階評価とするのか？</p> <p><b>2. 平成 2 3 年度 総合評価落札方式の実施状況について</b></p> <p>施工体制確認を行った 1 件の結果は？</p> <p><b>3. プロポーザル方式業務の審査について</b></p> <p style="text-align: center;">[ 特になし ]</p>	<p>主な変更点</p> <p>① 競争参加資格の地域要件の設定</p> <p>② 複数等級による発注</p> <p>③ 配点等の変更</p> <p>各部局でまちまちであった配点等について、国交省のガイドラインに沿い、統一化を図ることとしている。</p> <p>尚、詳細については現在、作業中である。</p> <p>現在、検討中である。尚、現在は、『優・可・不可』の 3 段階評価としている。</p> <p>提出書類に不備があったため、施工体制評定点を 0 点とした。</p>	

#### 4. 個別審査

##### ①平成23年度 総合評価落札方式実施予定 工事の事後審査について

###### 一網走川環境事業の内 網走湖塩浜境界層 制御施設ゲート新設工事（標準Ⅱ型）

発注者が想定した提案内容（案）について、全者とも提案していない項目があり、その点、改善の余地があるのではないか。具体的には、入札説明書の評価基準に項目を示すことにより、全者が提案してこないということを防げるのではないか。

評価の方法について、

A法～項目毎の「優・良・可」の個数で評価を行う方法

B法～提案全体の「優・良・可」の個数で評価を行う方法

があり、今回は、A法で評価を行っている。結果として、有効な提案数が多い者が必ずしも上位にならない結果となっている。

A法、B法いずれの評価で行うかは発注者の意志であるが、評価方法を複雑にすれば、このような問題も起きてくる。

##### ②平成23年度 総合評価落札方式実施予定 工事の事前審査について

###### 旭川紋別自動車道 遠軽町 金山1号橋 上部工事（標準Ⅱ型）

トンネル工事のような、もっと細かな評価基準を設定すべきではないか？

下記事項を今後、検討願いたい。

- (1) 評価プロセスの説明が複雑過ぎる。
- (2) 評価項目のその他が多すぎる。別に項目立てすべき。

##### ③平成23年度プロポーザル方式業務の事後 審査について

###### 雄武地域 地域整備方向検討調査業務業 務（総合評価・簡易型）

与条件の個数で評価している点は、調査業務なので妥当。配点について、実現性に重みを置くのは妥当であるが、その根拠付けが必要であ

意見を参考に、今後とも検討したい。

今回は、評価基準に対し、網羅的な提案のあった者を優位に評価するA法で評価したものである。

意見を参考に、今後とも検討したい。

今回、一般的な橋梁形式であり、また、入札方法も標準Ⅱ型であることから、トンネル工事の標準Ⅰ型のような細かな評価基準は設定していない。

意見を参考に、今後とも検討したい。

内容、了解した。

る。

**④平成23年度プロポーザル方式業務の事前  
審査について**

**元稲府漁港機能保全計画策定業務**

評価基準について、評価すべきキーワードを  
予め設定しておくべき。

－ 以上 －

内容、了解した。